

2021年 明石工場 環境報告書

Akashi Plant Sustainability Report 2021

1935年の創立以来、富士通グループは、様々な変化に対応し、お客様のビジネス強化、社会課題の解決へ取り組んでまいりました。さらに、富士通のパーパスとして「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくこと」をFujitsu Wayに定め、環境経営をはじめとするサステナビリティにより一層取り組んでおります。

※パーパス: 会社としての存在意義

Fujitsu Way: 社会における富士通グループの存在意義(パーパス)、大切にすべき価値観、および日々の活動において社員一人ひとりがどのように行動すべきかの原理原則(行動規範)の3つから構成されている。



1. ごあいさつ

明石工場は、1968年に関西地区の重要拠点として開設しました。開設当初からの緑を今も残し、自然あふれる事業所として操業を続けています。工場内の事業構造の変化に伴う建屋の最適化運用や再生可能エネルギーの導入等、工場一丸となった省エネルギー施策を推進し、エネルギー使用量の削減に努めています。昨年から今年にかけて、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、各種環境イベントは断念せざるを得ない状況でしたが、コロナ禍でも実施可能な環境ボランティア活動を模索し、有機肥料の近隣自治会への配布やウィンター・イルミネーションを企画し、地域の方々とのコミュニケーションを継続しました。これからも富士通グループ社員は、行動のよりどころである「Fujitsu Way」に則り、挑戦・信頼・共感をベースに「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていく」ために、サステナビリティ活動の一環として環境への取り組みを強化していきます。



富士通株式会社
明石工場長
川口 清二

2. 事業所の紹介

■ 富士通株式会社明石工場

- 所在地 : 兵庫県明石市大久保町西脇64
- 開設 : 1968年8月
- 勤務者数 : 363名 (2021年7月現在)
- 敷地面積 : 197,473.9㎡
(甲子園球場の約5個分)

明石工場内組織

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 富士通株式会社 | 富士通エフサス株式会社 |
| 富士通エフネットサービス株式会社 | 富士通Japan株式会社 |
| 富士通特機コンポーネント株式会社 | 富士通ファシリティーズ株式会社 |
| 富士通ホーム & オフィスサービス株式会社 | |

(その他 グループ外 3社)

3. 環境負荷低減の取り組み

■ エネルギーCO₂排出量

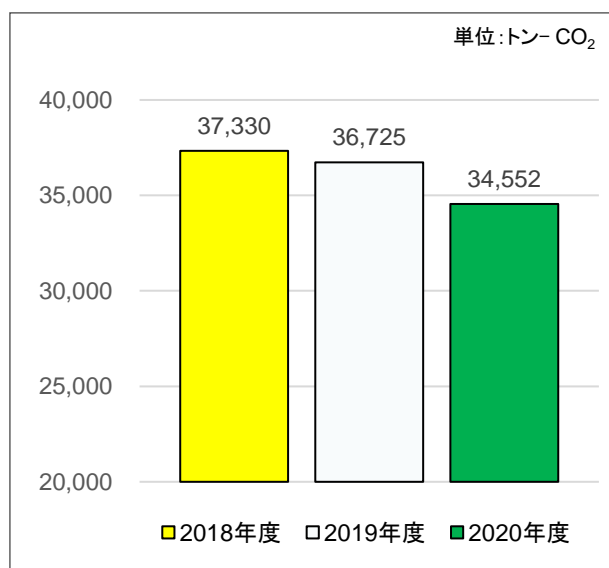
■ 2020年度実績 ; 34,552トン-CO₂

- ・ 事業構造の変化に伴う建屋運用の最適化や中長期的な建屋活用方針に整合した設備のあり方の検討を図り、効率的なエネルギーの活用展開、また、工場主要部門でのインフラ設備の高効率化にて、電力使用量の削減を図り、また、工場内の各社・各部門の省エネの推進、原動設備運用部門の節電施策を併せる事により、更なる削減を推進しております。
- ・ RE100※1に参画し、「FJcloud」※2を100%再生可能エネルギーで運用することを目指して、脱炭素化および気候変動適応へ貢献していきます。

※1 RE100:企業が自らの事業の使用電力を100%再エネで賄うことを目指す国際的なイニシアティブがあり、世界や日本の企業が参加しています。(環境省ホームページより)

※2 FJcloud:日本国内における当社のデータセンターから提供するクラウドサービス「FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud」のことです。

■ エネルギーCO₂排出量推移



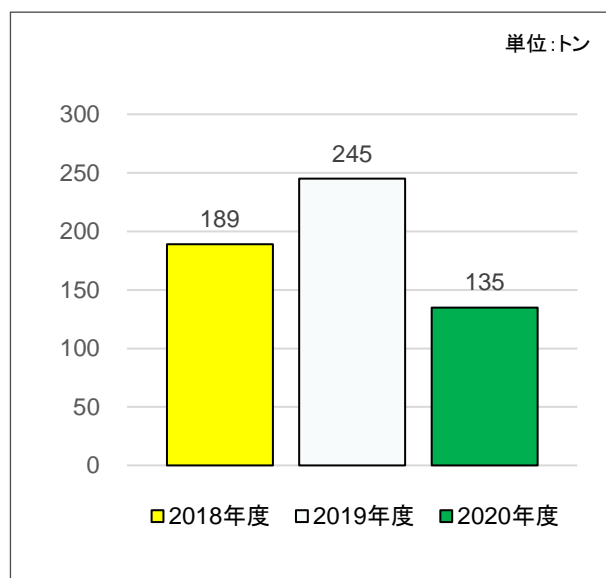
■ 総廃棄物排出量

■ 2020年度実績 ; 135トン

工場内の事業構造の変化に伴う集約・移転の影響で、2019年度は一時的に廃棄量が増加しましたが、入居部門の減少で、2020年度の廃棄量は減少に転じました。

- ・ 従業員一人ひとりの環境意識の向上を図り、分別廃棄の徹底、3R (リデュース・リユース・リサイクル)の推進など、廃棄物の総排出量削減活動を行なっています。
- ・ 減容機にて梱包材(発泡スチロール)を加熱脱泡圧縮固形化して、利用可能な再資源品として減量化を図っています。(固形量:88kg)
- ・ 社員食堂から発生する残飯や残食は、工場内で有機肥料化して一般廃棄物の減量化を図っています。
(肥料生産量:680kg⇒構内緑地への施肥、イベントでの配布)

■ 廃棄物排出量推移



資源ステーション



生ごみ処理装置



廃プラスチック減容機



圧縮された梱包材

4. 社会貢献活動

■ 生物多様性保全活動

■ 緑豊かな工場

- ・ 高い緑地率を確保し、建屋間にある広大な芝生、隣地間にある植栽塀、四季を彩る桜やツツジ、香り高い金木犀等、植栽管理による各種庭園景観が素晴らしく、緑あふれる工場です。

■ グリーンカーテンの設置

- ・ 省エネ活動の一貫として、食堂南側にゴーヤ等の蔓系植物のグリーンカーテンを植栽し、夏の日除け対策にて室内の温度上昇を抑制し、エネルギー使用の低減を図っています。

■ 有機肥料の配布促進活動

- ・ 食堂にて発生する残食を活用して有機肥料を作成し、近隣自治会や従業員へ無償配布を行い、廃棄物の削減等、エコ&コミュニケーションの向上に役立てています。

■ 鯉の池

- ・ 空調用冷却タワーの跡地を利用した人工の池を作り、鯉を放流しています。毎年、産卵し稚魚が生まれています。



構内樹木



鯉の池



グリーンカーテン



グリーンカーテン全体像

■ その他の活動など

■ 明石市花壇コンクールへの参加

- ・ 明石市花壇コンクールにて「明石市特賞」を受賞しました。今回のテーマは「花壇で応援！オリンピック・パラリンピック」でした。今年度、無事にオリンピック・パラリンピックは開催され、植付けメンバーの努力も報われ、草花達も喜んでいてのことでしょう。



花壇コンクール出品作品



植付け風景

■ ウィンターイルミネーションの実施

- ・ コロナ禍の中、近隣の方々への僅かながらの心の癒しと省エネの取組みとして、LEDライトを使用したイルミネーションを設置致しました。



ウィンターイルミネーション



花壇コンクール表彰状

■ PCB含有機器の計画的な廃棄

- ・ 工場内で使用していたPCB(ポリ塩化ビフェニル)含有機器廃棄物をPCB特措法に基づいて、計画的に廃棄しています。

2020年度は、低濃度PCB含有機器の廃却処分を実施し、大型トランスを含めた7台の機器の廃却を完了しました。また、高濃度PCB含有機器も廃却契約を完了し、低・高濃度全数廃却に向けて推進を図りました。



廃却PCB含有機器



廃却PCB含有機器

■ 環境ISOにおけるリモート監査

- ・ 環境ISO活動として、新型コロナウイルスの影響による在宅ワーク推進、県を越える移動の禁止等の感染症対策を考慮した監査を確立するため、モバイル機器や無線LANを駆使したりリモート監査を実施し、コロナ禍においても環境活動の質を落とさない運用を可能としました。

5. 安心・安全な工場への取り組み(法規制の順守状況) <2020年度騒音測定値(最大値)>

- 環境保全協定値の順守状況
大気、水質、騒音、振動、悪臭、産廃について、2020年度は環境保全協定値の超過はございません。

騒音	朝(dB)	昼間(dB)	夜(dB)
環境保全協定値	60.0	65.0	50.0
測定値	56.2	51.2	45.9

- 騒音・振動防止の取り組み
敷地境界で定期的に測定し、法令基準値を順守していることを確認しています。

<2020年度水質測定値(最大値)>

水質	COD(mg/L)	SS(mg/L)	N-Hex(mg/L)
環境保全協定値	13.0	14.0	1.0
測定値	6.0	13.0	0.5

- 大気汚染防止の取り組み
ボイラー、吸収式冷凍機の排ガス測定は、年3回実施し、基準値を順守しています。また、光化学スモッグ発生時には設備を停止させ、排ガス発生を抑制しています。

<2020年度排ガス測定値(最大値)>

大気	硫黄酸化物(ppm/時)	窒素酸化物(t/月)	ばいじん(g/Nm ³)
環境保全協定値	0.1	0.525	0.1
測定値	< 0.1	0.081	0.0010

- 法規制に基づく基準値の超過
下水pH監視BOX内の腐食により、赤さびが廃水中に溶解し、下水道法における溶解鉄の基準値10mg/Lのところ12mg/Lと超過しましたが、BOX内の樹脂塗装を実施し、対策を完了しました。

6. その他の情報

- ISO14001:2015 富士通株式会社統合認証 2021年3月に継続認証されました。

富士通明石工場環境方針

■ 理念

明石工場は、瀬戸内海へ面している自然の中で、地球環境保全が人類共通の最重要課題であることを認識して、入居各社それぞれが、開発・製造、およびアウトソーシング事業などを行う複合拠点です。

すべての社員が「クリーンな事業所」また、「地域社会に貢献出来る事業所」を目指し、さらに、豊かな自然を次の世代に残すことができるよう、一人ひとりの行動により先行した取り組みを継続していきます。

当工場は、富士通グループの環境方針および環境行動計画を踏まえた、環境マネジメントシステムに基づいて、環境保全活動に取り組み、以下の行動指針の下、全社員で推進します。

■ 行動指針

- 当工場の事業活動に係る環境側面を常に認識し、環境汚染の防止を推進するとともに、ISO14001に準拠し、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- 当工場の事業活動に係る環境関連法規、規制、協定、およびその他の要求事項を遵守します。また、環境に大きく影響を与える大気汚染・水質汚濁・騒音・振動は自主管理基準に基づく適正管理を行うとともに、持続可能な資源の利用や気候変動対策、更に生物多様性及び生態系の保護に努め、地域住民および当工場社員の安らぎをはかる緑化率を維持します。
- 環境方針の達成のために環境目的・目標を策定し、当工場および当工場内グループ会社の社員に周知させ、環境マネジメントを推進するとともに、当工場の「環境管理推進委員会」にて、状況に応じて目的・目標の見直しを行います。
- 当工場の事業活動において、環境に影響を与える次の項目を重点テーマとし、活動を推進します。
 - ・エネルギーCO₂排出量の増加量縮減
 - ・廃棄物低減に向けての取組と啓発
 - ・生物多様性の保全に向けて環境活動の推進及び地域社会との共存・協働

お問い合わせ先

富士通株式会社

明石工場 総務部
〒674-8555 兵庫県明石市大久保町西脇64
TEL : 078-934-8309 FAX : 078-935-4880

発行責任者 川口 清二
編集責任者 大藤 浩一
発行年月日 2021年8月31日
記載事項対象期間 2020年4月～2021年3月

